



O'ZBEKISTON RESPUBLIKASINING
ELCHISI

THE AMBASSADOR
OF THE REPUBLIC OF UZBEKISTAN
TOKYO

令和7年1月10日

「(仮称)奈良・サマルカンド特別交流展」

応援メッセージ

2027年7月から9月にかけて奈良国立博物館において、ウズベキスタンの国宝級の文物を集めた「(仮称)奈良・サマルカンド特別交流展」が開催される運びとなったことを大変光栄に思います。

かつてシルクロードの交差点にあったウズベキスタンは中央アジアに位置し、我が国には豊かな歴史と独特の文化、そして美しい自然があります。

ウズベキスタンには7,000以上の文化遺産があり、そのうち209はユネスコの世界遺産に登録されている4つの博物館都市にあります。近年、政府はこれらの都市の史跡の修復・保存と周辺のインフラ整備に大きな支援をしています。

サマルカンドはウズベキスタンで最も有名な観光地の一つです。「サマルカンドブルー」と呼ばれる比類のない美しい建築物と空の「青」が有名で、2001年に「文化交差点サマルカンド」として、ユネスコ世界文化遺産に登録されました。

特に言及すべきは、かつてシルクロードの東端であった日本の古都・奈良は中世の時代、ウズベキスタンと日本を繋いでいたということです。私たちは、まさに奈良がシルクロードの始まりの地点であると考えており、正倉院にウズベキスタンに由来する物が今も残っていることがそれを証明しています。そして、それは私たちの先達たちが交易を行っていたことを示しています。

2022年10月18日、サマルカンド市と奈良市は姉妹都市提携を結びました。注目すべきは、姉妹都市提携がウズベキスタンと日本の地方自治体間の交流の歴史の中で初めてとなる出来事で、古の時代から交流してきた両都市間の関係に新しい歴史のページを開き、パートナーシップと文化交流の更なる発展を促進したということです。

ウズベキスタン共和国内閣府文化芸術発展基金を始め、ウズベキスタン政府は両国の相互関係の歴史上、最大規模の共同文化事業となる「(仮称)奈良・サマルカンド特別交流展」を全面的に支援します。

今まで同様の大規模なウズベキスタンの展示会はパリやベルリン、ロンドンなど、世界の有名な博物館・美術館でも開催され、何百万人もの来場者から大きな注目と関心を集め、成功を収めてきました。

「(仮称)奈良・サマルカンド特別交流展」はウズベキスタンと日本の外交関係樹立35周年という節目に開催されます。奈良国立博物館で開催予定のこの展示会が歴史的な出来事となり、両国の友好関係の強化に大きく貢献し、ウズベキスタンと日本の文化交流の新しい時代を開くと確信しております。

駐日ウズベキスタン共和国特命全権大使
ムクシンクジャ・アブドゥラフモノフ